

船舶事故調査報告書

平成22年9月2日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）
委員 山本 哲 也
委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員行方不明
発生日時	不明（平成21年3月4日 08時00分ごろ～3月5日11時21分ごろの間）
発生場所	不明（島根県出雲市湖陵漁港～出雲市日御碕北北西方沖の間）
事故調査の経過	平成21年9月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で行方不明のため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 乗組員等に関する情報	漁船 第三洋祐丸、2.40トン SN3-14155（漁船登録番号）、個人所有 8.00m（Lr）×1.85m×0.74m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数50、昭和55年1月26日 船長 男性 63歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成15年7月23日 免許証交付日 平成20年6月2日 （平成25年7月24日まで有効）
死傷者等	行方不明 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、夕方には帰港する予定で、湖陵漁港を平成21年3月4日08時00分ごろ引き縄漁の目的で出航したが、翌5日の朝になっても帰港しなかったため、家族からの連絡を受けた所属漁業協同組合が、海上保安庁に通報した。 海上保安庁の巡視艇及び航空機並びに僚船による捜索が行われ、5日11時21分ごろ、日御碕灯台の北北西方60km付近で、低速力で航行している無人の本船が発見された。 その後、捜索が継続されたが船長を発見することができなかった。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風速 2.5m/s 海象：平穏
その他の事項	本船は、発見時、機関が前進となっており、漁獲したさわら1尾と昼食のパン2個及びペットボトルのお茶が、船内に残されていた。 操業中の本船を目撃した僚船はいなかった。 本船の引き縄漁の操業方法は、疑似餌を低速力で引いて行うものであった。 船長は、高血圧の薬を服用していた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 なし 本船は、船長が1人で乗船し、3月4日08時00分ごろ湖陵漁港を出港後、翌5日11時21分ごろ日御碕灯台沖において無人で航行しているところを発見されたことから、この間において、船長が、引き縄漁の操業中に落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が湖陵漁港を出航して引き縄漁の操業中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。	